

平成 29 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス				
教科目名	技術者倫理	担当教員	比屋根 均 (非常勤)	
学年学科	5年 M・D・C 学科	前期 (M, D), 後期 (C)	必修	1 単位 (学修)
学習・教育目標	(A-2) 100%		JABEE 基準 1 (1): (b)	
<b>授業の目標と期待される効果:</b> 職業人や技術者として生きていくために大切なこと、倫理的に行動する上で大切なことを理解するとともに、実際にグループ討論等によって、意見の異なる人とも協働できるようになり、学んだことを自分の意見に消化し身につける。 ① 職場の人間関係で大切なことを理解している ② 職場という組織の一員として大切なことを理解している ③ 安全や環境を守るためにどのように気を付けて行動すればよいか理解している ④ 倫理の基本的な考え方を理解し、倫理的な行動の仕方について考えられる ⑤ 組織の一員として適切に判断し行動することができる ⑥ 専門職としての自覚が必要なことを意識しはじめている		<b>成績評価の方法:</b> 中間・期末試験は行わない。教室外学修に記載の、講義の中で行うグループ討論・ワークの個人レポート (9 回を予定: 計 45%) と、各人に課す小レポート (6 回を予定: 計 55%) によって評価する。 <b>達成度評価の基準:</b> 以下に示す項目の成績評価への重みを、①15% (5%+10%), ②5%, ③15%, ④15%, ⑤45%, ⑥5%とし、合計が 60% 以上に達していること。 ① 職場の人間関係で大切なことを理解していること ② 職場という組織の一員として大切なことを理解していること ③ 安全や環境を守るためにどのように気を付けて行動すればよいか理解していること ④ 倫理の基本的な考え方を理解し、倫理的な行動の仕方について考えられること ⑤ 組織の一員として適切に判断し行動することができること ⑥ 専門職としての自覚が必要なことを意識しはじめていること		
<b>授業の進め方とアドバイス:</b> 社会人は、大きなテーマがある仕事でも、決まった作業のような仕事でも、毎日新たな問題が発生し、考え教わりながら対処することで、様々なことを学び身につけていく。この科目でも毎回、座学だけでなく何らかの作業を行い身につけていくとともに、その成果で評価する。また、社会人が現実に出会う倫理問題は答えが 1 つに定まらず、考え方や価値観、能力、置かれた状況によって答えが違ってくる。グループ討論でも小レポートでも、まず自分で考えるのは当然として、異なる意見にも耳を傾けて理解しようとして欲しい。そうすることで、社会人としてのコミュニケーション力や多様な人々と関わり合える柔軟性が身に付くだろう。想像力と集中力を積極的に発揮してもらいたい。				
<b>教科書および参考書:</b> 「技術の営みの教養基礎 技術の知と倫理」(比屋根均、理工図書、2012 年) を教科書として用いるが、毎回プリントも配布する。 参考書: 「はじめての工学倫理」(斉藤了文・坂下浩司、昭和堂)、「理系のための技術者倫理」(直江清隆・盛永審一郎編、丸善)、「技術者倫理事例集」(電気学会、オーム社)、「土木技術者倫理問題—考え方と事例解説 I, II」(土木学会)				
<b>授業の概要と予定:</b>		教室外学修	AL のレベル	
第 1 回: ガイダンス～社会人になる準備を始めよう		小レポート作成	C	
第 2 回: 職場～様々な専門家の協働		グループ討論	A	
第 3 回: 自分と仲間を守る		グループ討論	A	
第 4 回: 組織の意思決定・行動・報連相		小レポート作成	C	
第 5 回: 組織の資源・費用と効果・営業秘密		グループ討論	A	
第 6 回: 知的財産・個人情報・情報セキュリティ		小レポート作成	C	
第 7 回: 製品・サービスの価値、安全、PL 法		グループ討論	A	
第 8 回: 安全の理論		グループワーク	B	
第 9 回: 安全の評価		グループ討論	A	
第 10 回: プロセスの大切さ		小レポート作成	C	
第 11 回: 倫理的評価の視点		グループワーク	B	
第 12 回: 社会的責任と持続可能性		グループ討論	A	
第 13 回: 法と倫理～技術の場合		グループ討論	A	
第 14 回: 倫理問題の解決、不正と公益通報		小レポート作成	C	
期末試験は行わない				
第 15 回: まとめ～専門職と倫理綱領				

評価（ルーブリック）

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 (優)	標準的な到達 レベルの目安 (良)	未到達 レベルの目安 (不可)
①	職場に受け入れられ、人間関係を積極的に作り、評価されるために何が大切かについて、自分の生活態度に結び付けて理解している	職場に受け入れられ、人間関係を積極的に作り、評価されるために何が大切かについて、自ら考えていかねばならないことだと理解している	職場に受け入れられ、人間関係を積極的に作り、評価されることの大切さを理解していない
②	組織を成り立たせている資源や財産、それらを守る活動を理解し、組織の一員として生きることを自分のこととして考えられる	組織を成り立たせている資源や活動の基本を理解し、組織の一員として守るべきことを理解している	組織を成り立たせている資源や活動の大切さや、組織の一員として働くことを自分のこととして考えない
③	技術を含む人の営みにおいて、安全や環境を守るためにどのようにすればよいか、その基本を一通り理解している	技術を含む人の営みにおいて、安全や環境を守るための活動や心がけの大切さを理解している	技術を含む人の営みにおいて、安全や環境を守るための活動や心がけの大切さを理解していない
④	倫理の基本的な考え方、倫理的配慮の内容、倫理問題の解決法について、その基本を一通り理解している	倫理の基本的な考え方、倫理的配慮の内容、倫理問題の解決法の大切さを理解している	倫理の基本的な考え方、倫理的配慮の内容、倫理問題の解決法の大切さを理解していない
⑤	グループの議論や作業で自ら進んで行動できるとともに、グループ全体のことを考え、成果だけでなく学びを有意義にできるように自らの貢献の仕方を工夫できる	グループの議論や作業に参加し、グループとしてよりよい成果を出すことに貢献している	グループの議論や作業に参加しない。グループの円滑な活動に貢献しない
⑥	専門職の役割や重要性、どのようなことが求められるかを理解し、そのための意識を高めている	専門職の役割や重要性、何が求められるかを理解している	専門職の役割や重要性を理解しない。